

## 第3章

# 「みやぎの ICT 教育研究専門部会」の活動と 宮城教育大学教職大学院学生の学び (平成30年度)

宮城教育大学教職大学院

教授 田幡憲一

## 1 活動の内容

### (1) 研究協議会における研究授業後の授業分析会の指導助言

平成 30 年 12 月 11 日開催の研究協議会において、10 本の研究授業とそれぞれの授業についての授業分析会が実施された。

宮城教育大学教職大学院現職教員学生の加茂純（宮城県立角田支援学校主幹教諭）は大和史弥仙台城南高等学校教諭による体育（サッカー）の研究授業を対象とした授業分析会での指導助言を行った。加茂は研究協議会に先立って宮城教育大学で実施した指導案検討会に参加し、研究授業への問題意識を深めた。

### (2) 研究協議会におけるフォーラムの司会及び司会補助

フォーラムの内容は、安藤明伸氏（宮城教育大学教授）による講演と、宮城県第一高等学校（報告者：八巻一智教諭）、宮城県立支援学校女川高等学園（報告者：鈴木大二郎教諭）、仙台市立七郷中学校（報告者：草野有希教諭）からの実践報告であった。

いずれも宮城教育大学教職大学院ストレートマスター 1 年次学生の加賀智大、千葉崇史の 2 名が協働して司会を行い、講演や報告の進行と討論の組織化、議論のまとめなどを行った。また、司会の補助として同じく宮城教育大学教職大学院ストレートマスター 1 年次学生の藤倉宏丞がプログラムの進行状況を予め準備したスライドを用いて場内に示した。

### (3) ICT 利活用研修会

#### 1) ICT 利活用研修会について

みやぎの ICT 教育研究専門部会は、平成 29 年度から、研究成果を広く、初等教育、中等教育、特別支援教育に活かすことを目指し、ICT 利活用研修会を開催している。

平成 30 年度は、利府町、東松島市、気仙沼市、仙台市で ICT 利活用研修会開催した。このうち利府町での研修会は利府町教育委員会とともに開催し、気仙沼市での研修会は気仙沼市・宮城教育大学連携センターとともに開催した（表 1）。

#### 2) 内容と教職大学院学生の活動

第 1 回研修会の内容は、iPad のカメラ機能を使いこなすことを中心とした初歩的な内容である。仙台城南高等学校教諭の樋代直人と千葉俊哉が講師として指導した。

第 2 回～第 4 回の研修会は①初等教育、特別支援教育に関わる教員を対象としたプログラミングロボット「sphero」を活用したプログラミングの指導についてワークショップ（講師は藤原英治）、②中等教育の理科、技術等に関わる教員を対象とした「TECH 未来」を活用したプログラミングの指導についてのワークショップ（講師は木村浩之）を行なった。

表 1 平成 30 年度みやぎの ICT 教育研究専門部会 ICT 利活用研修会

	日時	会場	参加者数	講師	支援者
第 1 回	8 月 7 日	利府町役場 (利府町)	22 名	樋代直人 千葉俊哉	4 名
第 2 回	12 月 9 日	矢本市民センター (東松島市)	16 名	木村浩之 藤原英治	3 名
第 3 回	1 月 26 日	鹿折ふれあいセンター (気仙沼市)	16 名	木村浩之 藤原英治	6 名
第 4 回	3 月 3 日	宮城教育大学 (仙台市)	24 名	木村浩之 藤原英治	8 名

樋代直人、千葉俊哉はともに仙台城南高等学校教諭。木村浩之は東松島市立成瀬未来中学校教諭、藤原英治は石巻市立河南東中学校教諭で、ともに宮城教育大学教職大学院現職教員学生。支援者は研修会組織者であるが、第 3 回の支援者には講師補助を行なった宮城教育大学教職大学院ストレートマスター 2 年次学生の齊藤充志、田幡陽輔が含まれる。

## 2 教職大学院学生の学びと意義

現職教員学生は、修了後には地域の教育に関わるリーダーとしての役割を期待されている。大学院教員の支援のもとで、研究授業の指導・助言を学ぶことや、他機関と連携しながら地域の学校教員を対象とした研修会を開催する技術を身につけることは、今後の宮城県の教育の発展にとって意義がある。また、ストレートマスターにとっては本専門部会内部での ICT 教育の在り方に関する議論に触れたことや、研修会の準備、運営に携わったことは、教員としての勤務の中で生きる学びである。

## 3 今後に向けて

宮城教育大学教職大学院学生は、みやぎの ICT 教育研究専門部会の活動に平成 27 年度からかかわっている。会議にオブザーガーとして参加し、研究協議会の運営に携わるところから始めたが、研究授業の授業者や指導助言者として参加するなど、その参加の方法はよりアクティブになってきている。

修了後には、殆どの現職教員学生と多くのストレートマスター学生が宮城県内で教育活動を行なう。活動に参加した修了生のネットワークを組織して、宮城の ICT 教育の発展に資することを考えてもいいかも知れない。

(追記 令和元年 6 月 4 日開催の宮城県総合教育センター主催の教員研修会にて、木村浩之、藤原英治が平成 30 年度 ICT 利活用研修会第 2～4 回と同様な内容の研修を指導した。)